

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス マイスペース

支援プログラム

作成日

2024 年

9 月

10 目

法人（事業所）理念		家、学校、そして子供達のもう一つの居場所になるように、と思いを込めて『マイスペース』と名付けました。										
支援方針		○第三の居場所に…支援を必要とするすべての子どもたちに家、学校以外の第三の居場所として利用して過ごしてもらい、信頼、安心できる場所を目指す ○切れ目のない支援…将来の姿を見据え、一人一人に合った支援を行う										
営業時間			10	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	児童発達支援	定期的な心身の把握（気分の把握、体温測定）。食事、排泄、着脱、整容等のスキルを身につける。構造化を意識した部屋のレイアウト。									
		放課後等デイサービス	定期的な心身の把握（気分の把握、体温測定）。アンガーマネジメント、気持ちの切り替えなど感情を客観視してコントロールをする練習。思いを言語化する。									
	運動・感覚	児童発達支援	姿勢、ジャンプ、ボール、ダンスなどの体幹を賦活させるようなプログラム。									
		放課後等デイサービス	姿勢、ジャンプ、ボール、ダンスなどの体幹を賦活させるようなプログラムに加えて、鬼ごっこなどルールのある遊び。									
	認知・行動	児童発達支援	特性に合わせて伝え方を工夫する。ABAによる適正な行動の増加（行動問題を変化）を狙う。スモールステップで本人が少し難しいことを頑張ってみる力をつけるような関わりを実施する。									
		放課後等デイサービス	上記に加え、話を聞く、宿題に取り組む、学習の姿勢を支援する。「やってみてよかった」と思えるような関わり方を模索する。									
	言語 コミュニケーション	児童発達支援	インリアルアプローチを意識して言葉の土台を育てる。言葉だけでなく、ジェスチャーや絵カード等の非言語でのコミュニケーション。									
		放課後等デイサービス	絵や写真、実物を用いて伝えることを視覚化する。反社会的問題行動に対して丁寧に観察しつつ、社会的に適切な行動を考え支援する。									
人間関係 社会性	児童発達支援	順番を守る、要求、指示に沿った行動をとる、等の社会生活において必要になる力の獲得の支援。										
	放課後等デイサービス	集団での活動や、友達との関わりを通して実践的にソーシャルスキルの獲得を目指す。集団において発生する人間関係の中で相手と自分も大切にしたい行動ができるように支援を行う。										
家族支援		送迎時の保護者への情報提供以外に、年に2回、保護者面談を行い生活状況や困りごとを聴取する機会を設ける。必要に応じて、社会資源の情報提供。							移行支援		・移行先への本人の情報や保護者の意向の共有 ・学校や家庭と連携し本人の成長を促していく	
地域支援・地域連携		地域の障害福祉、教育、就労支援等の関係機関などと連携を図り、切れ目のない一貫した支援を提供する							職員の質の向上		・各種研修参加促進 ・共通認識を持つため定期的な職員会議の開催	
主な行事等		・季節、工作に関すること（夏祭り、節分、クリスマス会、季節の壁面作成など） ・英語、音楽、運動などのプログラム活動 ・買い物支援、外出支援。・定期的な避難訓練										